

# 2022年度 卒業生調査 対象者全体の集計結果

京都ノートルダム女子大学  
2023年7月

## 【2022年度卒業生調査実施概要】

1. 対象者： 2006年度、2011年度、2016年度 卒業生
2. 実施方法： ・回答収集はWebで実施  
・同窓会で管理している卒業生名簿の住所にURLを記載したはがきを送付して実施する旨を周知
3. 調査時期： 2022年12月 ～ 2023年1月
4. 主要調査項目：  
入学形態、受講態度、知識・能力の獲得状況、留学経験  
大学教育、大学生活に対する満足度、卒業後の本学とのつながり  
初職の就業形態・勤務先等、現職の就業形態・勤務先等  
キャリアパスに対する満足度、海外での勤務経験、英語運用能力のレベル  
社会経験から学生時代に身につけるべきと考える能力、卒業学科・年度  
卒業高校等所在地・現在の居住地、週当たりの学習時間  
本学に対する意見・感想

本集計結果には、上記「主要調査項目」より、以下の項目を抜粋して掲載しています。

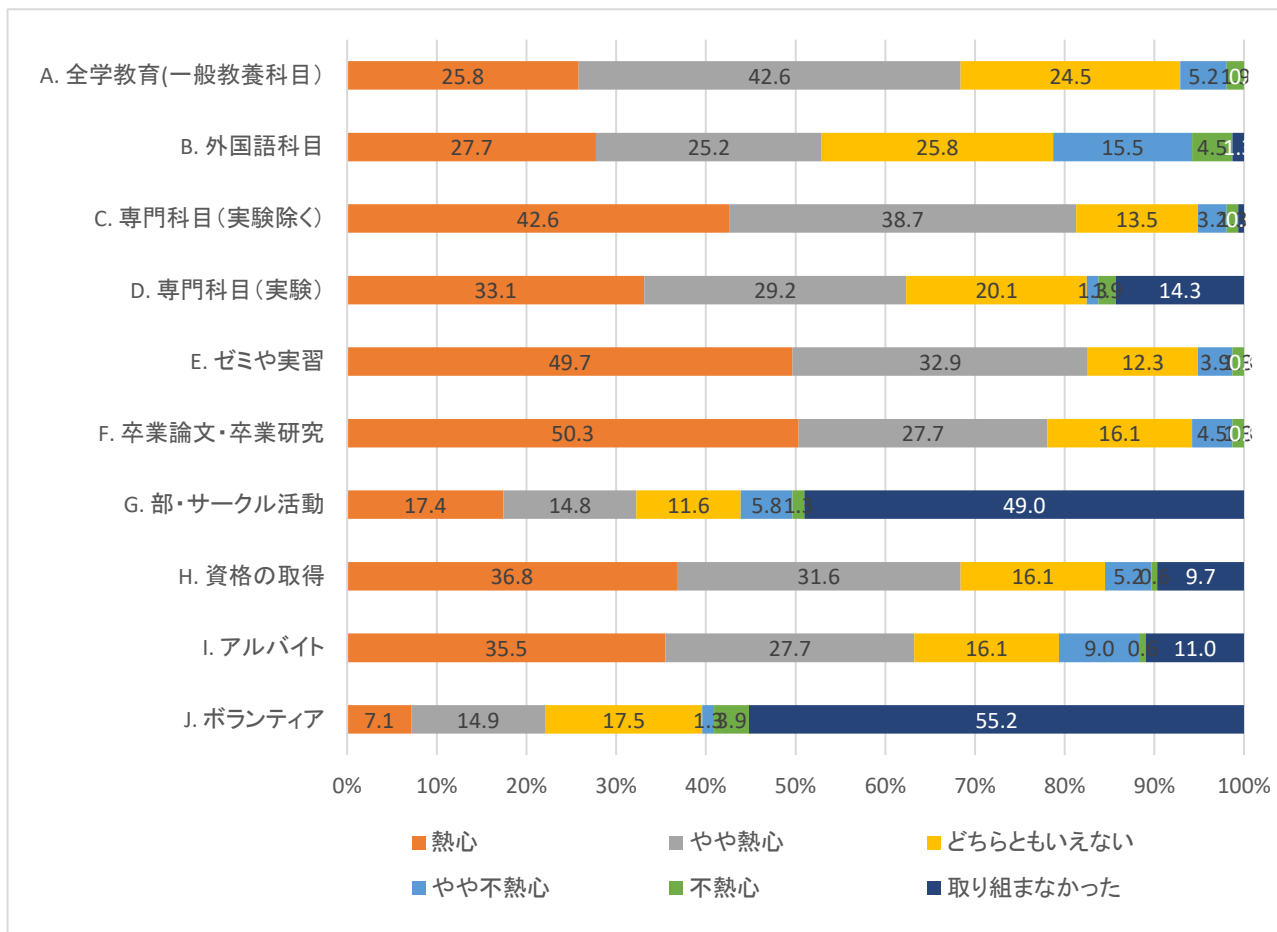
- ・授業・課外活動等への取り組み姿勢(Q1)
- ・知識・能力の獲得状況(Q2)
- ・大学教育、大学生活に対する満足度(Q3-Q4)
- ・卒業後の本学とのつながり(Q5)
- ・初職の就業形態・勤務先等(Q6-Q9)
- ・社会経験から学生時代に身につけるべきと考える能力(Q10)

なお、調査項目は、「大学IRコンソーシアム」が作成した調査項目を採用しています。

## 5. 回収状況：

卒業年度	学科	配付数	回収数	回収率
2006年度	英語英文学科	85	11	12.9%
	人間文化学科	39	10	25.6%
	人間文化学部生活福祉文化学科	54	7	13.0%
	生涯発達心理学科	66	14	21.2%
	学科不明		9	
	卒業年度合計	244	51	20.9%
2011年度	英語英文学科	66	13	19.7%
	人間文化学科	31	7	22.6%
	生活福祉文化学部生活福祉文化学科	46	10	21.7%
	心理学部心理学科	98	28	28.6%
	学科不明		12	
	卒業年度合計	241	70	29.0%
2016年度	英語英文学科	52	14	26.9%
	人間文化学科	31	6	19.4%
	生活福祉文化学部生活福祉文化学科	60	7	11.7%
	心理学部心理学科	95	14	14.7%
	学科不明		8	
	卒業年度合計	238	49	20.6%
調査対象者合計		723	170	23.5%

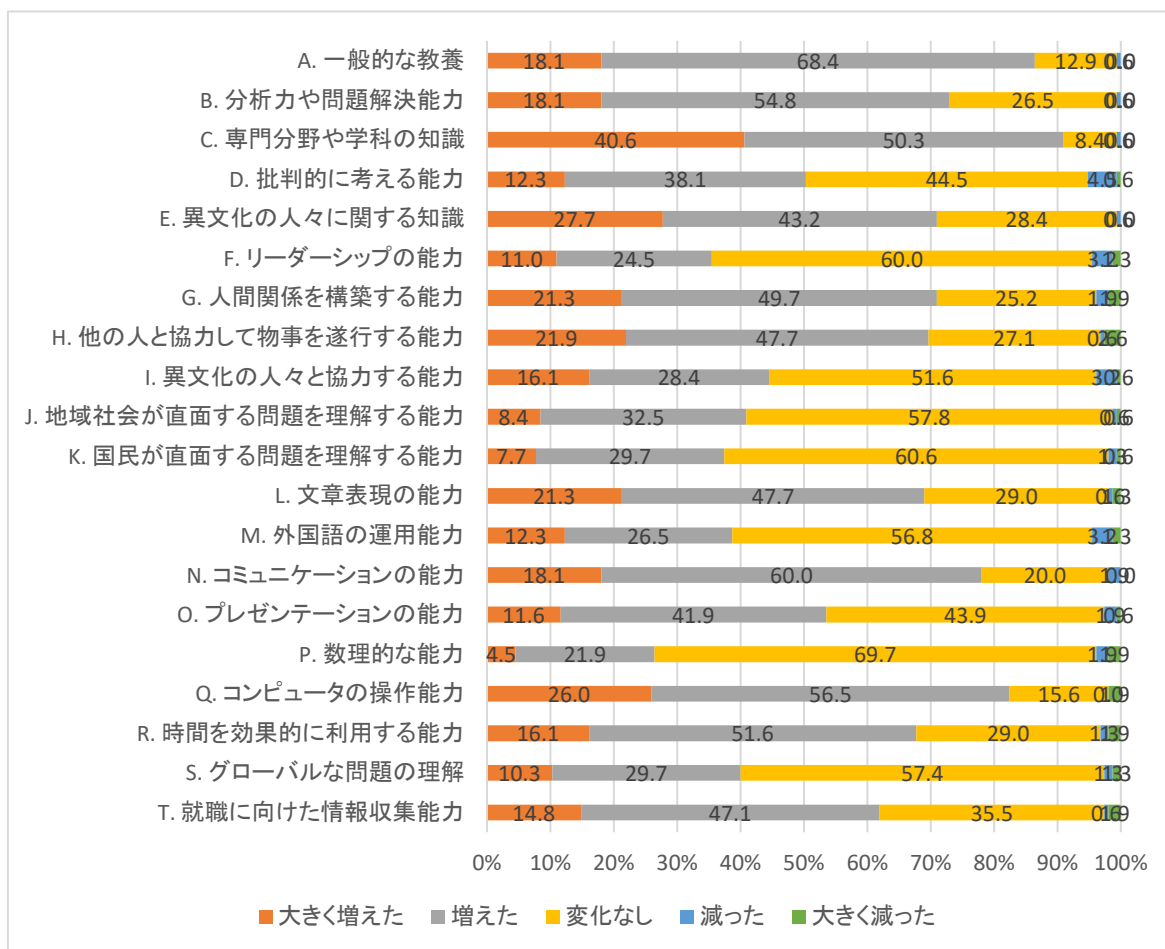
Q1. 大学の授業科目や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。  
 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[3])



(%)

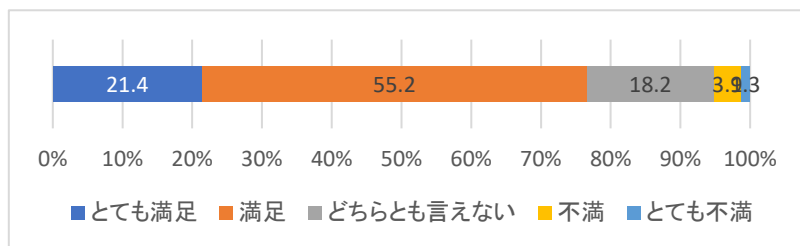
	件数	熱心	やや熱心	どちらともいえない	やや不熱心	不熱心	取り組まなかった
A. 全学教育(一般教養科目)	155	25.8	42.6	24.5	5.2	1.9	0.0
B. 外国語科目	155	27.7	25.2	25.8	15.5	4.5	1.3
C. 専門科目(実験除く)	155	42.6	38.7	13.5	3.2	1.3	0.6
D. 専門科目(実験)	154	33.1	29.2	20.1	1.3	1.9	14.3
E. ゼミや実習	155	49.7	32.9	12.3	3.9	1.3	0.0
F. 卒業論文・卒業研究	155	50.3	27.7	16.1	4.5	1.3	0.0
G. 部・サークル活動	155	17.4	14.8	11.6	5.8	1.3	49.0
H. 資格の取得	155	36.8	31.6	16.1	5.2	0.6	9.7
I. アルバイト	155	35.5	27.7	16.1	9.0	0.6	11.0
J. ボランティア	154	7.1	14.9	17.5	1.3	3.9	55.2

Q2. 在学中に、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。  
(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[4])



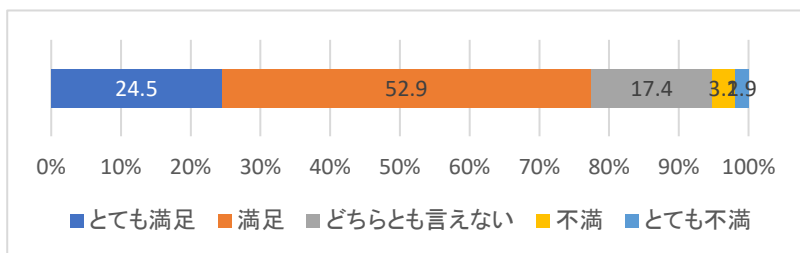
	件数	(%)				
		大きく増えた	増えた	変化なし	減った	大きく減った
A. 一般的な教養	155	18.1	68.4	12.9	0.6	0.0
B. 分析力や問題解決能力	155	18.1	54.8	26.5	0.6	0.0
C. 専門分野や学科の知識	155	40.6	50.3	8.4	0.6	0.0
D. 批判的に考える能力	155	12.3	38.1	44.5	4.5	0.6
E. 異文化の人々に関する知識	155	27.7	43.2	28.4	0.6	0.0
F. リーダーシップの能力	155	11.0	24.5	60.0	3.2	1.3
G. 人間関係を構築する能力	155	21.3	49.7	25.2	1.9	1.9
H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	155	21.9	47.7	27.1	0.6	2.6
I. 異文化の人々と協力する能力	155	16.1	28.4	51.6	3.2	0.6
J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	154	8.4	32.5	57.8	0.6	0.6
K. 国民が直面する問題を理解する能力	155	7.7	29.7	60.6	1.3	0.6
L. 文章表現の能力	155	21.3	47.7	29.0	0.6	1.3
M. 外国語の運用能力	155	12.3	26.5	56.8	3.2	1.3
N. コミュニケーションの能力	155	18.1	60.0	20.0	1.9	0.0
O. プレゼンテーションの能力	155	11.6	41.9	43.9	1.9	0.6
P. 数理的な能力	155	4.5	21.9	69.7	1.9	1.9
Q. コンピュータの操作能力	154	26.0	56.5	15.6	0.0	1.9
R. 時間を効果的に利用する能力	155	16.1	51.6	29.0	1.3	1.9
S. グローバルな問題の理解	155	10.3	29.7	57.4	1.3	1.3
T. 就職に向けた情報収集能力	155	14.8	47.1	35.5	0.6	1.9

Q3. 本学の教育・研究は満足のものでしたか。  
 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[6])



件数: 154 (%)	
とても満足	21.4
満足	55.2
どちらとも言えない	18.2
不満	3.9
とても不満	1.3

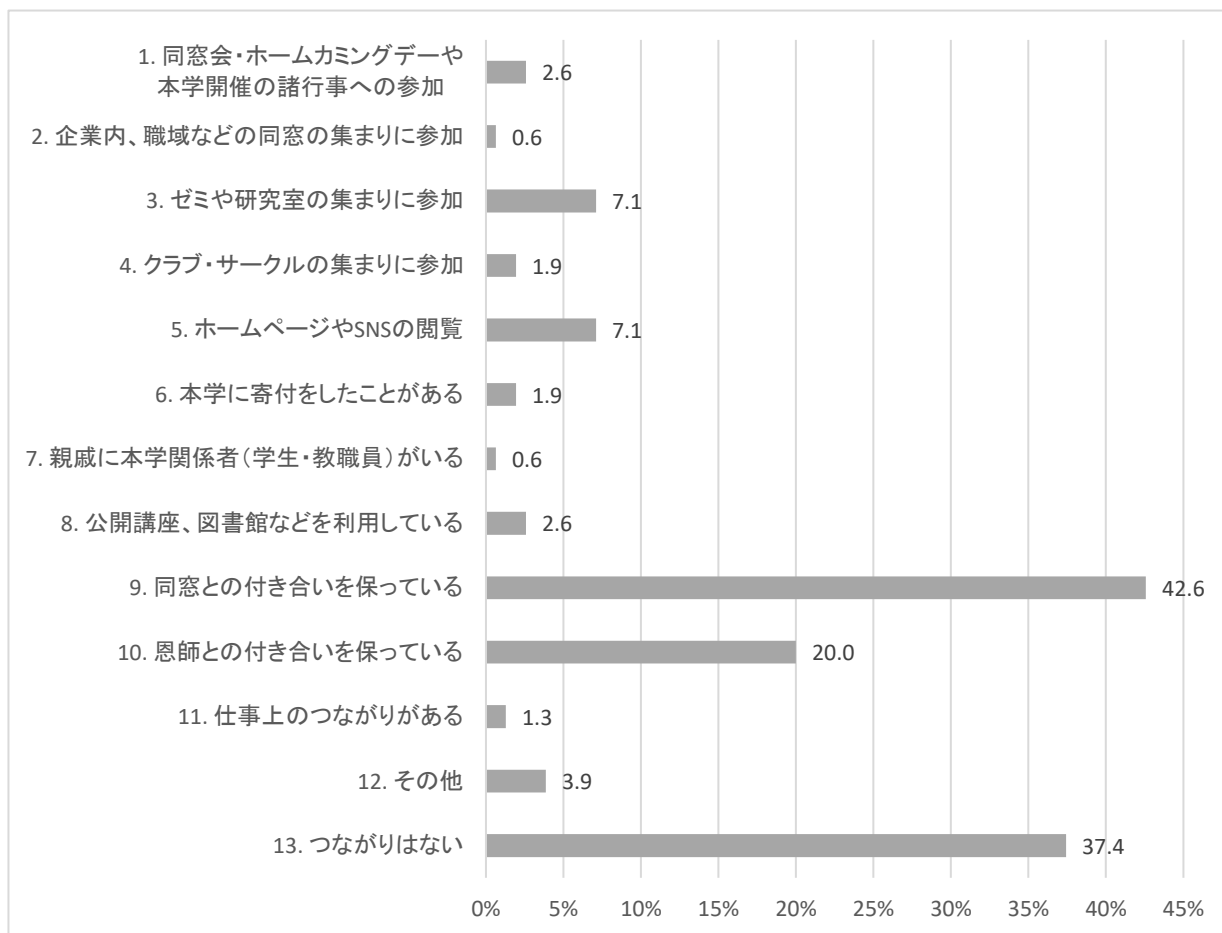
Q4. 大学時代の生活全般に満足していましたか。  
 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[7])



件数: 155 (%)	
とても満足	24.5
満足	52.9
どちらとも言えない	17.4
不満	3.2
とても不満	1.9

Q5. 卒業後、本学とどのようなつながりがありますか。  
 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[8])

複数選択可

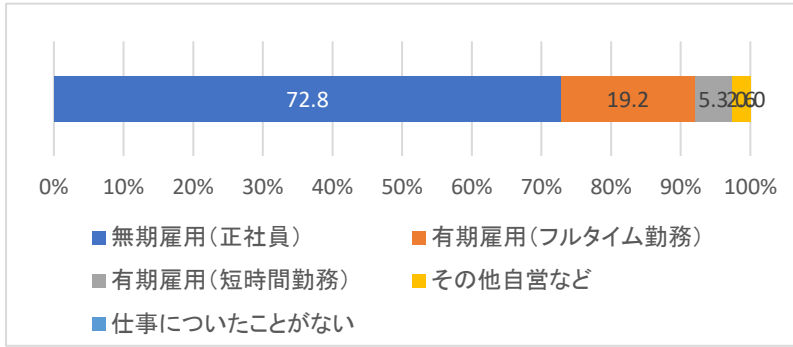


件数: 155

(%)

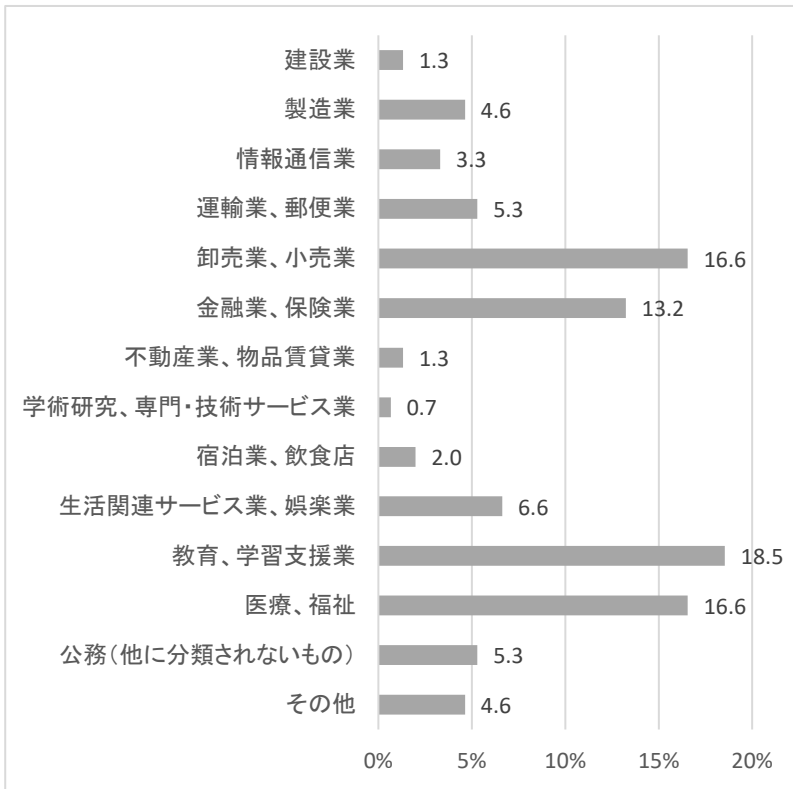
1. 同窓会・ホームカミングデーや本学開催の諸行事への参加	2.6
2. 企業内、職域などの同窓の集まりに参加	0.6
3. ゼミや研究室の集まりに参加	7.1
4. クラブ・サークルの集まりに参加	1.9
5. ホームページやSNSの閲覧	7.1
6. 本学に寄付をしたことがある	1.9
7. 親戚に本学関係者(学生・教職員)がいる	0.6
8. 公開講座、図書館などを利用している	2.6
9. 同窓との付き合いを保っている	42.6
10. 恩師との付き合いを保っている	20.0
11. 仕事上のつながりがある	1.3
12. その他	3.9
13. つながりはない	37.4

Q6. 初職の就業形態についておうかがいします。  
(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-1])



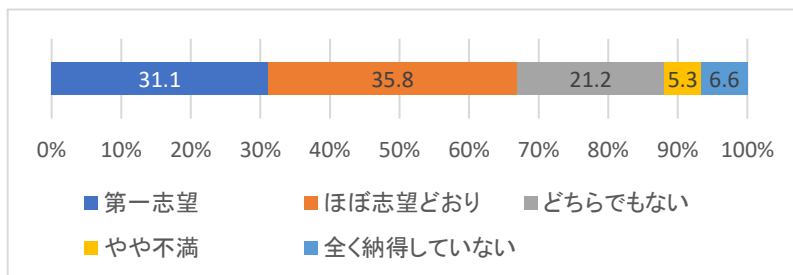
就業形態	割合 (%)
無期雇用(正社員)	72.8
有期雇用(フルタイム勤務)	19.2
有期雇用(短時間勤務)	5.3
その他自営など	2.6
仕事についたことがない	0.0

Q7. 初職の勤務先の業種について、該当するものを一つだけ選択してください。  
(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-2])



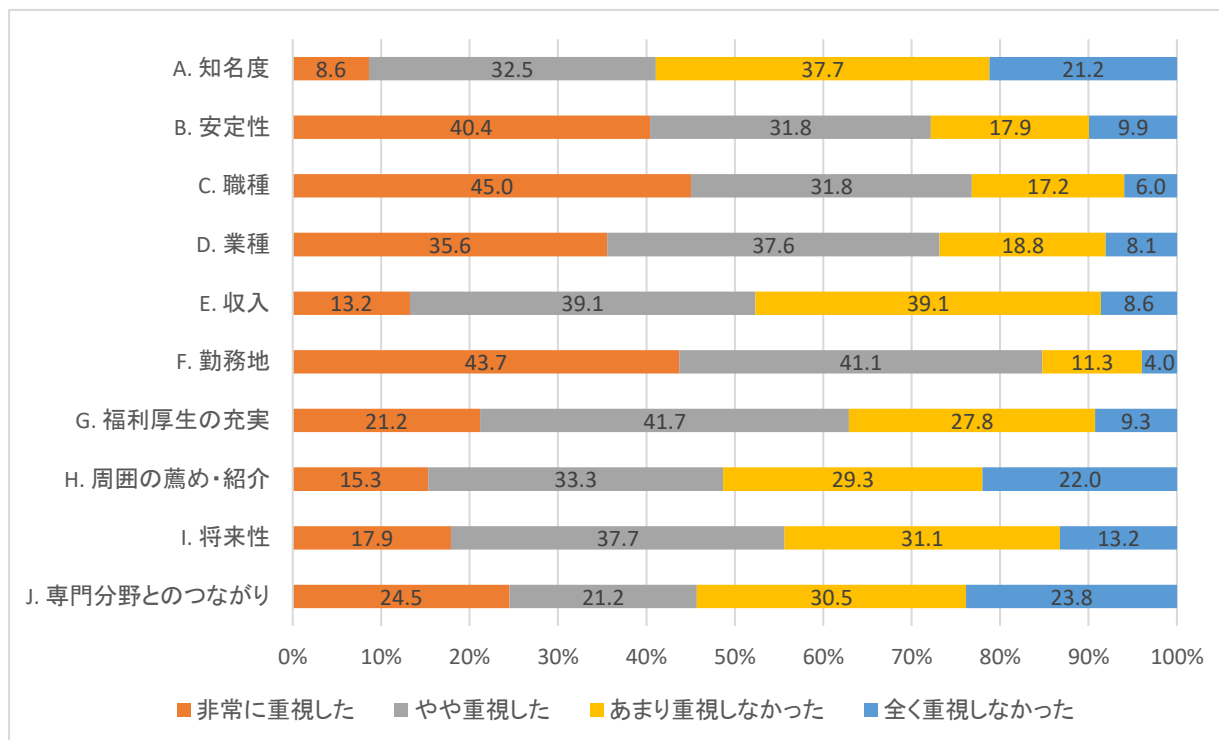
業種	割合 (%)
建設業	1.3
製造業	4.6
情報通信業	3.3
運輸業、郵便業	5.3
卸売業、小売業	16.6
金融業、保険業	13.2
不動産業、物品賃貸業	1.3
学術研究、専門・技術サービス業	0.7
宿泊業、飲食店	2.0
生活関連サービス業、娯楽業	6.6
教育、学習支援業	18.5
医療、福祉	16.6
公務(他に分類されないもの)	5.3
その他	4.6

Q8. 初職の就職先については、志望どおりでしたか。  
(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-3])



志望状況	割合 (%)
第一志望	31.1
ほぼ志望どおり	35.8
どちらでもない	21.2
やや不満	5.3
全く納得していない	6.6

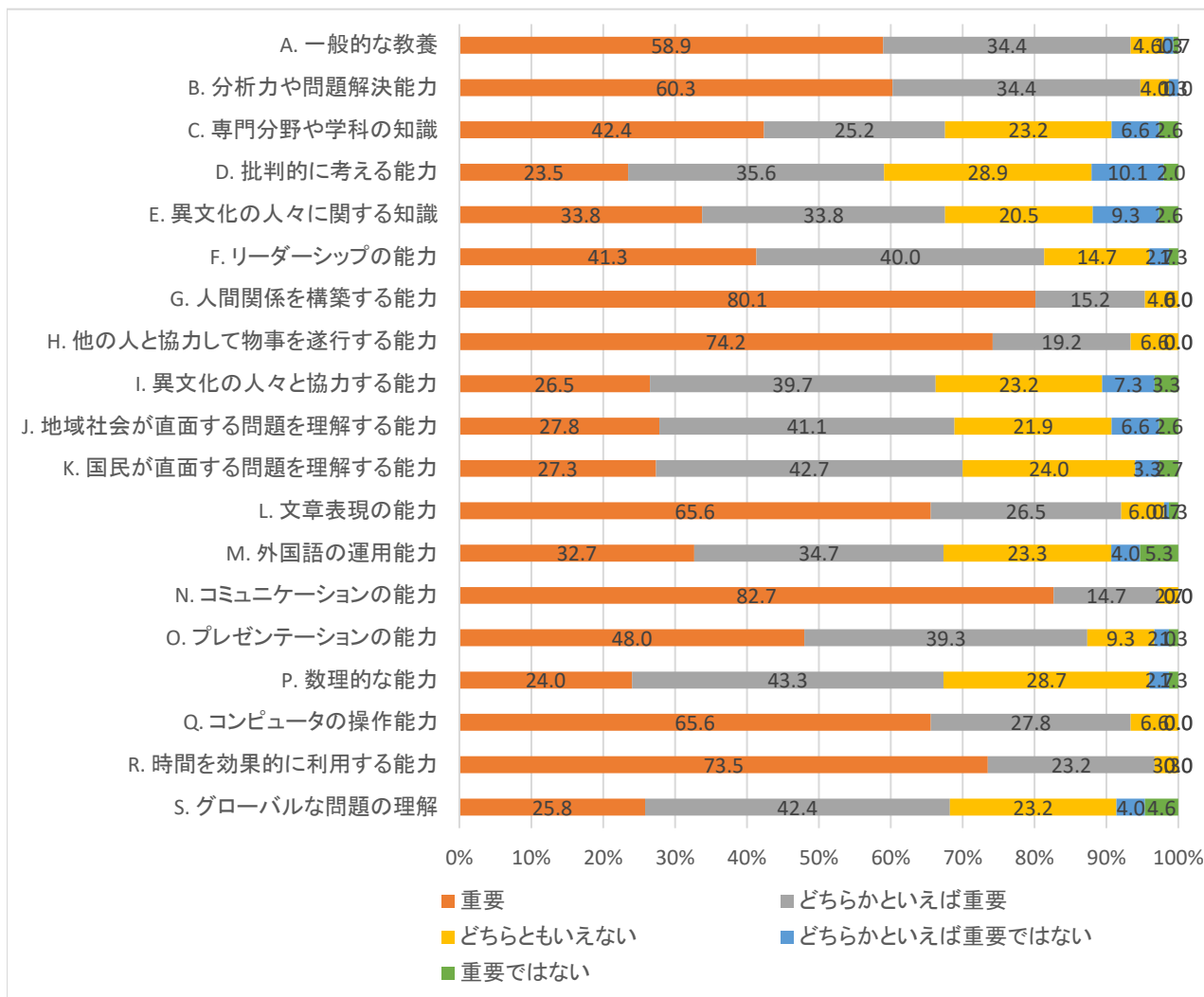
Q9. 初職の就職先の選択に際し、以下の項目をどの程度重視しましたか。  
(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-4])



(%)

	件数	非常に重視した	やや重視した	あまり重視しなかった	全く重視しなかった
A. 知名度	151	8.6	32.5	37.7	21.2
B. 安定性	151	40.4	31.8	17.9	9.9
C. 職種	151	45.0	31.8	17.2	6.0
D. 業種	149	35.6	37.6	18.8	8.1
E. 収入	151	13.2	39.1	39.1	8.6
F. 勤務地	151	43.7	41.1	11.3	4.0
G. 福利厚生充実	151	21.2	41.7	27.8	9.3
H. 周囲の薦め・紹介	150	15.3	33.3	29.3	22.0
I. 将来性	151	17.9	37.7	31.1	13.2
J. 専門分野とのつながり	151	24.5	21.2	30.5	23.8

Q10. 大学卒業後のあなたの社会経験を踏まえて、以下の能力を大学生時代に身につける重要性はどの程度あると考えますか。(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[14])



(%)

	件数	重要	どちらか といえば 重要	どちらとも いえない	どちらか といえば 重要では ない	重要では ない
A. 一般的な教養	151	58.9	34.4	4.6	1.3	0.7
B. 分析力や問題解決能力	151	60.3	34.4	4.0	1.3	0.0
C. 専門分野や学科の知識	151	42.4	25.2	23.2	6.6	2.6
D. 批判的に考える能力	149	23.5	35.6	28.9	10.1	2.0
E. 異文化の人々に関する知識	151	33.8	33.8	20.5	9.3	2.6
F. リーダーシップの能力	150	41.3	40.0	14.7	2.7	1.3
G. 人間関係を構築する能力	151	80.1	15.2	4.6	0.0	0.0
H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	151	74.2	19.2	6.6	0.0	0.0
I. 異文化の人々と協力する能力	151	26.5	39.7	23.2	7.3	3.3
J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	151	27.8	41.1	21.9	6.6	2.6
K. 国民が直面する問題を理解する能力	150	27.3	42.7	24.0	3.3	2.7
L. 文章表現の能力	151	65.6	26.5	6.0	0.7	1.3
M. 外国語の運用能力	150	32.7	34.7	23.3	4.0	5.3
N. コミュニケーションの能力	150	82.7	14.7	2.7	0.0	0.0
O. プレゼンテーションの能力	150	48.0	39.3	9.3	2.0	1.3
P. 数理的な能力	150	24.0	43.3	28.7	2.7	1.3
Q. コンピュータの操作能力	151	65.6	27.8	6.6	0.0	0.0
R. 時間を効果的に利用する能力	151	73.5	23.2	3.3	0.0	0.0
S. グローバルな問題の理解	151	25.8	42.4	23.2	4.0	4.6